

竹馬会情報紙

ホームページアドレス

<http://www9.ocn.ne.jp/~cihkuba/>

はずみ

竹馬会キャラクター
なベムシ君

どんど焼き

2月11日(土)どんど焼きを行いました。当日は夕方から雲行きがおかしくなり、5時30分に神官さんの祝詞が始まる頃から雨になりました。

6時の火入れの予定を15分程繰り上げて火を入れました。

それでも土砂降りの中、会場を訪れた人は傘を差してお餅を焼いていました。6時過ぎに雨も激しくなり、傘を持たない竹馬会のメンバーはびしょ濡れでした。そのうち、お客さんもほとんどいなくなり、早めに切り上げて、川野さんの倉庫から遠巻きに火の番をしました。雨男は誰だったのでしょうか。



桜ともみじの里づくり

合併して1年になります。今のところ市民生活そのものにはそんなに大きな変化は見られないと思います。しかし、厳しい財政状況の中、各種補助金や事業は大きく見直されようとしています。これまでの三光村時代のイベントなども縮小または廃止となるものも出てくると思います。

その反面、市民が独自で行う地域づくりが活発になり、自分達の地域は自分達で守るということと共に、市民の連携が強まってきました。そういった意味では竹馬会の泥田バレーも大いに注目をされていますし、中津市の各種団体からのいろんな依頼も、いの一に竹馬会に声が掛かります。

先日中津商工会議所が中心の「NPO法人中津まちづくり協議会(理事長:愛宕久和)」が進める『桜ともみじの里づくり』に協力依頼がありました。新中津市に桜1万本、もみじ10万本を植えようというものです。具体的に、いつ・どこに何本という計画があるわけではありません。

三光でもこれまで、村民が中心になり八面山にもみじを植えてきましたし、竹馬会も河川敷に桜を植えました。こうした運動を旧中津市から山国まで住民が主体となって展開していくということなのです。

そうした中、事始めに3月18日(土)競馬場跡の総合体育館建設予定地付近に350本の桜の植栽を計画しており、竹馬会からも参加して一人1本ずつ植えてほしいということです。是非、参加してそのあと、河川敷の枯れた桜の植え替えも出来ればと考えています。竹馬会も新中津市の市民としてステップアップしましょう。

詳しくは後日連絡いたします。

出雲ブランド“食の祭典”

平田市も昨年合併して出雲市になりました。その出雲市で合併1周年記念の『“食の祭典”2006 地産地消、そして全国へ』というイベントが3月25、26日の2日間出雲ドームで開催されます。呉市から沖元君が「大和ミュージアム」の観光宣伝を兼ねて参加するそうです。これも故花本さんと故高橋さんが引き合わせたのでしょうか。竹馬会も久しぶりに出かけて、出雲市、呉市、中津市で交流をしませんか？

今後の予定

- 3月18日(土) 桜植樹 競馬場跡、河川敷
詳しくは後日連絡
3月18・19日 若葉会研修旅行
3月25・26日 出雲“食の祭典”？
4月 5日(日) 総会 18:00～
佐知集会所(お宮横)
※出雲に不参加の場合は総会は26日

訃報

年明けに2件の訃報が飛び込んできました。一人は平成7年初めて呉市に行ったとき「グリーンヒル郷原」の所長だった花本憲三さんです。その後、三光にも何回も来てくださり、市役所を退職後は呉大学に勤務をしていましたが体調を壊し、昨年暮れの12月21日に亡くなられたそうです。

もう一人は、島根の高橋佳久さんです。おとなしい方でしたが、平田の泥田バレーでは、毎回、本部席のパソコンの前で得点の集計係をしていました。5年前にガンが見つかり治療を続けていたそうですが、2月3日に亡くなられたそうです。43歳でした。

お二人のご冥福をお祈りいたします。合掌



故花本憲三氏



故高橋佳久氏